Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J・E・T・S・NEWS Vol.38

発行所／460-0022　愛知県名古屋市中区金山2丁目1-3　東海聖書神学塾内
学会サイト・アクセス　http://evangelical-theology.jp

「破格」のキリストを伝え続ける

全国理事長　大坂　太郎

「まっ、いっか」で入った大学が後の人生にここまでの影響を与えることになるとは思わなかった。良き師との出会いにより語学習得の面白さに気付き、そこから神学校への留学の道が開かれたのだから神の配剤の妙を感じずにはおれない。とはいえ苦手な授業は当然あった。特にダメだったのが書道と漢詩。特に漢詩は、鑑賞はともかく、作詩となるともういけない。やれ押韻だ、平仄だと言われるともう「お手上げ」。教授の「憐れみ」によって何とか単位を頂いた記憶がある。

バブル景気に沸く日本をひとり離れ、神学校に入ってから学んだ聖書学関連の授業。やれ文学類型（ジャンル）だ、平行句だ、キアスムスだなどというタームを覚えながら思ったことは言語行為の中にある類似性である。聖書の詩文についての議論をしているときに、「ああ、これは漢詩のあれみたいなもんだな」と思うとそれが理解の助けになったことが一度ならずあった。その一つがピリピ2:6-11の「キリスト賛歌」を巡る議論である。近年では多くの学者たちが、この個所をパウロ自身のものと見るよりも、既に教会の伝承となっていた賛歌を引用したものだと主張し、更にある者たちはその中の幾つかはパウロによる加筆であり、その結果詩形のみだれが起きていると分析している。その一つが8節の「十字架の死」である。これを知った時ふと脳裏によぎったのが「破格」という言葉であった。漢詩において破格とは本来「規則にはずれていること」を指すが、時にその「破れ」が絶妙な効果を産むことから、肯定的な意味で用いられる。それを思い出したのだ。

「キリストは、、、死にまで従いました」一見すればこれで十分とも思える。しかしパウロには物足りなかった。だから異邦人にあっては恥であり、ユダヤ人にとっては呪いであった「十字架」を敢えて挿入した。十字架。それはつまづきであり、破れであり、痛みである。詩形はくずれ、美は後退する。しかし十字架を描かずしてキリストを語ることは十字架以外を誇りとする事を良しとしない（ガラテヤ6:14）彼には土台出来ない相談だったのだろう。

福音主義神学会はこの「破格」を継承する学会である。聖書が明瞭に示している「高次のキリスト論」を堅持する学会であり、イエス・キリストの十字架の死とそこからの復活を信じ、語り、生き続ける学会である。その基盤に立ち更なる神学的な研鑽を続けていきたい。

（日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
ベテルキリスト教会牧師）

◆各地区部会報告◆

東部部会報告

1．理事会の構成

◎役員理事：理事長：大坂太郎
書　記：岡村直樹
会　計：岩上敬人
◎学会誌：木内伸嘉、三好　明
◎部門理事：聖書神学：内田和彦
歴史神学：丸山悟司
組織神学：渡辺　聡、関野祐二
実践神学：福井　誠、岡村直樹

2．研究会・講演会

春期研究会：2014年6月16日（月）
OCCチャペル　14:00-17:00
主題『「パウロ研究の新しい視点」から福音を問い直す』
コーディネーター：大坂理事長
発題①「パウロ研究の新しい視点
・サンダースとダンを中心に」
伊藤明生氏（東京基督教大学）
発題②「ローマ3:21~22・新しいパウロ観からの解釈」
岩上敬人氏（インマヌエル聖宣神学院）

3．会員異動

〈入会〉正会員：棚瀬裕文氏、野村天路氏、
小林政和氏、飯田仰氏、小島聡氏、
韓在國氏、玉山圭吾氏、平塚治樹氏
賛助会員：ベテルキリスト教会、
イムマヌエル聖宣神学院
〈退会〉笹岡靖氏、川上直哉氏、坂本博氏、鈴木玲子氏
（現在：正会員135名、準会員5名、賛助会員12団体）

中部部会報告

1．理事会構成

◎役員理事：理事長：山﨑ランサム和彦
書　記：田中　忍
会　計：池上　泉
◎学会誌：壇原久由
◎広　報：東正　明
◎理　事：河野勇一

2．研究会・講演会

春期公開講演会　2014年5月12日（月）
（金山キリスト教会）
主題：「ルターとルター神学～その真意」
講師：橋本昭夫氏（神戸ルーテル神学校教授）
秋季研究発表会　2014年11月17日（月）
（金山キリスト教会）
主題：「日本福音主義神学会　2014年全国研究会議
分科会（争点）『教理』の発題」
講師：後藤喜良氏（東海聖書神学塾教務主任）

3．中部部会会報　第15号

山﨑ランサム和彦氏「巻頭言」
橋本昭夫氏「ルターとルター神学～その真意」
松浦剛氏「アウグスティヌスの手紙」
後藤喜良氏「日本福音主義神学会
2014年全国研究会議　分科会（争点）『教理』の発題」

4．会員異動

〈入会〉正会員：東　賢作氏
賛助会員：リバイバル聖書神学校
〈退会〉隈上正敏氏
（現在：正会員27名、賛助会員2団体）

西部部会報告

1．理事会構成

◎役員理事：理事長：正木牧人
書　記：岸本大樹
会　計：鎌野直人
◎学会誌：安黒　務、坂井純人
◎理　事：石崎伸二、金井由嗣、杉　貴生、
瀧浦　滋、吉田　隆

2．研究会・講演会

春期研究会議　2014年4月20日（月）
（神戸ルーテル神学校）
テーマ：「社会に生きるキリスト者～職業倫理～」
講　師：瀧浦　滋氏（神戸神学館代表）
橋本昭夫氏（神戸ルーテル神学校教授）
高木　実氏（キリスト者学生会総主事）
九州ブロック研究会　2014年6月23日（月）
テーマ：「原発をどう考えるか」
講　師：金本友孝氏
（クロスロード・ゴスペル・チャーチ牧師）
全国研究会議　2014年11月4日（火）～6日（木）
（関西聖書学院：西部部会主催）
テーマ：「福音主義神学、その行くべき方向
- 聖書信仰と福音主義神学の未来 -」
講　師：津村俊夫氏（聖書宣教会教師）
関野祐二氏（聖契神学校校長）
リチャード・ギャンブル氏（米国）
藤本　満氏（インマヌエル聖宣神学院教師）
責任者：安黒　務氏（一宮基督教研究所主催）
瀧浦　滋氏（神戸神学館代表）

3．会員異動

〈入会〉正会員：大西良嗣氏、禰津省一氏、
袴田康裕氏、吉田隆氏、古川和夫氏、
白石勝美氏、松崎英高氏、酒井　啓氏、
平田裕介氏、川向　肇氏、高木　実氏
準会員：金田知朗氏、小澤寿輔氏、中川和哉氏、
江藤裕美子氏、星出美千子氏、北迫えり子氏
賛助会員：大阪聖書学院
〈退会〉塚本　恵氏、中江松二氏
（現在：正会員167名、準会員12名、賛助会員13団体）

学会誌報告

1．学会誌編集委員：安黒務（編集長）、木内伸嘉、坂井純人、檀原久由、三好明

2．第46号特集テーマ：
「福音主義神学、その行くべき方向（2）」
執筆予定者：木内伸嘉氏（巻頭言）、岩上敬人氏、藤本満氏、藤原淳賀氏、橋本昭夫氏、富田雄治氏、Guy Prentiss Waters 氏

◆全国理事会及び全国研究会議準備委員会議事録◆

日　時：2015年6月1日（月）　11:00－15:00
場　所：名古屋国鉄会館会議室7階ひかり
出席者：（敬称略・五十音順）
・東部：大坂太郎（東部・全国理事長）、岡村直樹（全国研究会議）
・中部：壇原久由（学会誌書記）、山﨑ランサム和彦（理事長、全国書記）
・西部：安黒務（学会誌編集長・全国研究会議）、鎌野直人（全国会計）、正木牧人（理事長、全国理事長）

I.　全国研究会議準備委員会総括　11:00-12:00
司会：大坂太郎全国理事長
1．祈祷（岡村氏）
2．第14回全国研究会議に関する準備委員長からの報告（安黒氏）
3．第14回全国研究会議の感想・反省ならびに第15回への展望についての意見交換
3．1　今回の感想・反省
3．2　第15回への展望
・話し合われた内容を東部部会に持ち帰って検討することが決議された。
4．祈祷（安黒氏）

（12:00-12:40　昼食）

II.　全国理事会　12:40-15:00
司会：大坂太郎全国理事長
1．開会のみことばと祈り（大坂氏）
ピリピ1:6『感謝を先取りする』
2．報告事項
2．1 全国理事会（山﨑ランサム氏）
2．2 2014年度各部部会報告
2．2．1 東部（岡村氏）
2．2．2 中部（山﨑ランサム氏）
2．2．3 西部（正木氏・鎌野氏）
2．3 2014年度学会誌報告（檀原氏）
2．4 2014年度全国会計報告（鎌野氏）
2．5 2014年度JETSニュース報告（山﨑ランサム氏）
3．審議事項
3．1 役員構成を以下の通り承認した。
・全国理事長：大坂氏
・全国 会計：鎌野氏
・全国 書記：山﨑ランサム氏
3．2 学会誌（安黒氏）
・2月23日にもたれた学会誌編集会議について報告がなされた。
・全国会計からは2015年度も80万円を支出することが決議された。次年度から2月の編集会議の時点で全国理事会に予算案を提出していただきたいとの要望が出された。
3．3 JESTニュース（山﨑ランサム氏）
・昨年度と同要領で作成・発行する。
・原稿締切は7月末とする。
・巻頭言は大坂全国理事長。
3．4 2015年度全国会計予算案について
・西部部会からの献金（10万円）は全国研究会議の基金として特別会計として計上することが決議された。
・研究助成費は0円とすることが決議された。
・以上の議論に基づいて修正された予算案が承認された。
3．5 学会誌取引条件変更の件について
・大坂全国理事長よりいのちのことば社に問い合わせることが決議された。
3．6 西部部会からの規約改正案については、継続審議。
3．7 会員名簿について
・今後は電子版で対応することとし、印刷名簿は持たないことが決議された。
3．8　次回全国理事会予定
・2016年6月6日（月）11:00-14:30
名古屋国鉄会館7階会議室ひかり
・出席者は今年と同じ役職とする。
4．閉会祈祷（正木氏）

日本福音主義神学会　全国　会計

2014年度決算報告　および　2015予算

収入の部			
項　　目	2014年度予算	2014年度決算	2015年度予算
東部分担金	350,000	350,000	350,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	400,000	400,000	400,000
学会誌売上	100,000	45,577	100,000
広告収入	150,000	150,000	150,000
献　金	0	100,000	0
雑収入	0	0	0
前年度繰越	850,697	850,697	911,628
合　　計	1,920,697	1,966,274	1,981,628

支出の部			
項　　目	2014年度予算	2014年度決算	2015年度予算
学会誌出版費	800,000	800,000	800,000
全国理事会費	150,000	124,514	150,000
事務通信費	10,000	432	10,000
ニュース発行費	35,000	29,700	35,000
研究助成費	50,000	0	0
全国研究会議費	0	0	0
名簿作成費	0	0	0
基金へ繰入	0	100,000	0
雑費・予備費	875,697	0	986,628
次年度繰越	0	911,628	0
合　　計	1,920,697	1,966,274	1,981,628

総　　計		現　在　額	
項　　目	金　　額	項　　目	金　　額
出版基金	1,208,421	郵便振替	2,220,049
全国研究会議基金	100,000	現　金	0
次年度繰越	911,628		
合　　計	2,220,049	合　　計	2,220,049

日本福音主義神学会の活動のさらなる発展のために、献金をお願いいたします。
郵便振替口座 01140-6-32221「日本福音主義神学会」

日本福音主義神学会ニュース
2015年8月1日発行

発　行　日本福音主義神学会
編　集　山﨑ランサム和彦
印　刷　（株）プレイズ出版